

支払基金が公表した歯科診療分の審査情報提供事例

支払基金本部が、2013年3月18日に計6項目の審査事例を公表した。連番は、2011年9月26日、2012年2月27日、8月27日に24項目(直近は歯科保険医新聞2012年10月15日号に掲載)から引き継がれているため「25」から始まっている。

25 根管充填

原則として、根管充填後に、歯根破折等で抜歯に至った場合、当該根管充填の算定を認める。

【理由】

歯を保存するために行った根管充填後に、歯根破折等でやむを得ず抜歯に至ることは臨床にあり得るものと考えられる。

26 歯周基本治療と歯周外科手術

原則として、1日で全顎のスクレーピングを実施した場合の、全歯に対するSRP、歯周外科手術に係る費用の算定を認める。

【理由】

歯周病の病態はさまざまであり、1日でスクレーピングを実施することは、歯科医学的にもあり得る。また、その後の歯周病検査の結果によっては、歯周病の進行の程度、根面の状況により、全歯に対するSRPや必要な部位の歯周外科手術を実施することも考えられる。

27 歯冠修復物又は補綴物の除去

原則として、同月内に「C→Pul」の移行病名で、レジン充填後に抜髄を行った場合、抜髄を行う際の除去の算定を認める。

【理由】

歯髄の保存を図る目的でレジン充填を行った後、やむを得ず抜髄に至る

ことは臨床にあり得ることから、同月内に抜髄に伴うレジン充填の除去は考えられる。

28 抜歯手術(埋伏歯)

原則として、「智歯周囲炎(Perico)」病名で「J000抜歯手術5埋伏歯」の算定は認めない。

【理由】

「J000抜歯手術5埋伏歯」の算定にあたっては、算定要件が定められており、Perico病名のみでは算定要件に合致しないことから、認められない。

29 う蝕歯インレー修復形成

原則として、インレー装着後、同月内にPul症状で抜髄を行った場合、抜髄前のう蝕歯インレー修復形成、印象採得、咬合採得及びインレー装着の算定を認める。

【理由】

インレー装着後に疼痛が出現し、やむを得ず抜髄となることは、臨床にあり得るものと考えられる。

30 咬合採得

原則として、乳歯金属冠の装着にあたり間接法で行う場合、「M006咬合採得1歯冠修復」の算定を認める。

【理由】

乳歯金属冠の装着にあたり間接法で行う場合に、咬合採得を行うことは、歯科医学的にあり得るものと考えられる。

第6回日常診療経験交流会



ささえよう患者と家族、考えようターミナルケア
おだやかな最期を迎えてもらうために

日時 6月23日(日) 9:30~17:30

会場 保険医会館/M&Dホール

- ・午前 分科会
- ・昼 ランチョンセミナー
- ・午後 記念講演 小山明子氏 (女優・故大島渚氏 (映画監督)の妻) シンポジウム

参加費 会員1000円、家族・従業員500円
ふるってご参加ください

テーマは問いません

演題募集中

●募集演題

- ①医科歯科連携の取り組み、②診療の研究と工夫、③コ・メディカル、コ・デンタル、スタッフのアイデア、経験交流、④在宅医療ターミナルケアとして分科会発表かポスター発表とします。

●発表 1演題につき20分(15分発表、質疑5分)

●締切 5月20日

●問い合わせ

応募条件など詳細については☎06(6568)7731で保険医協会事務局まで

演者・演題の(推薦・応募)用紙

※推薦または応募に○をつけてください FAX 06(6568)0564

お名前(会員名)	開業地
発表者名	○をつけてください 歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・歯科助手
演題テーマ	連絡先(医院の電話番号)